

令和6年度鳥取市総合教育会議（第1回）会議録

1 日 時 令和6年12月24日（火） 13時30分～

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 7階 第2委員会室

3 出席者 〔構成員〕

市長：深澤 義彦

教育長：河井 登志夫

教育長職務代理者：藤井 喜臣

教育委員：前田 哲雄

教育委員：谷口 なおこ

教育委員：中井 英子

〔市長部局〕

副市長：羽場 恭一

総務部長：竹間 恭子

総務部次長兼総務課長：濱岡 直樹

危機管理課長：田川 新一

まちなか未来創造課長：筒井 真二

地域福祉課参事：大島 ゆかり

文化交流課長補佐：城市 索

〔教育委員会事務局〕

教育委員会副教育長：徳高 雄一郎

教育委員会次長兼教育総務課長：山下 宣之

教育委員会次長兼学校教育課長：浅見 康陽

教育委員会文化財課長：佐々木 孝文

教育委員会生涯学習・スポーツ課長：須崎 ひとみ

教育委員会学校保健給食課長：山根 ちはる

教育委員会中央図書館長：長本 次郎

教育委員会総合教育センター所長：中村 礼子

教育委員会学校教育課参事（こども発達支援センター所長）

：平戸 由美

教育委員会教育総務課長補佐：小清水 晃子

〔傍聴者〕 日本海ケーブルネットワーク 上本 琴音

日刊建設工業新聞 西山 大輝

4 会議次第

- (1) 防災教育について
- (2) 文化施設のあり方について
- (3) 次期鳥取市の教育等の振興に関する大綱、鳥取市教育振興基本計画の策定について

5 会議概要

1 開 会 13時30分

開会（教育委員会副教育長）

2 市長あいさつ

皆様こんにちは。今日は大変お忙しい中、本年度第1回総合教育会議にご出席をいただきましてありがとうございます。また、日頃より教育委員の皆様におかれましては、本市教育の充実・発展に大変ご尽力を賜り、改めまして感謝申し上げます。

さて、現在の教育大綱と教育振興基本計画ですが、これは令和3年度に策定をいたしまして、計画期間を5年とするものです。この令和3年度は、総合計画、また、創生総合戦略等、本市におきましても様々な諸計画が一斉にスタートした年でありました。来年度が最終年度になりますので、教育大綱また教育振興基本計画を策定するというのが来年度になります。令和8年度からの5年間ということで、第3期の大綱等策定をするということになるわけであります。

ご承知のように、今、少子高齢化・人口減少が少しずつ進んでおりまして、また、国内外の情勢も日々非常に大きく目まぐるしく変化しているように思われるところであります。そういったなかで、市民の皆さんや私たちが住みなれた地域で、いつまでも安心して心豊かに暮らしていける、そのようないわゆる地域共生社会の実現を目指していかなければならないと思っております。また、若い世代のみなさんが暮らし続け、将来を担っていく子どもたちで賑わう、そのような街を目指していくことが必要であると考えておりまして、来年度策定していきます総合計画等々におきましても、基本的にはこのような考え方で策定を進めていくことになろうかと思います。

本日は先ほど、副教育長から話がありましたように3点についてご協議をいただきたいと考えております。先ほど申し上げました、本市の次の大綱また教育振興基本計画策定について、そして防災教育について、また、文化施設のあり方について、それぞれ担当の部局よりご説明申し上げたいと思います。また忌憚のないご意見賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 防災教育について

学校教育課長（資料に基づき説明する。）

藤井委員（資料に基づき説明する。）

危機管理課長（資料に基づき説明する。）

地域福祉課（資料に基づき説明する。）

【質疑】

（藤井委員）

それぞれの計画や方向性は同じですが、マイタイムラインについて、私どもの職員も、鹿野学園に行ってマイタイムラインの作成の検証をしたんですが、やはり全部の学校へ出掛けられるわけではありません。難しいことですが、学校で作成するようなことを進めるために、先生方というかどなたか学校の中で選んでいただいて、ある程度マイタイムラインの作成を学校の中で指導できるようになればいいのではというのがひとつあります。

それから子どもたちだけではない話になりますが、今障がいのある人の個別避難計画が作成を義務づけられてると思います。ただ私も実際町内会でその話が出たときに感じたのですが、地区や町内会に委ねてお願いしますという話にどうしてもなってしまっていますが、なかなか浸透してないのも事実で、町内会の役員は毎年変わるんですよね。ということで、誰が役割を担うかということと会長等で担っても毎年変わるということもあり、また民生委員が担うといっても多忙で1人で全部賄えるわけではありません。そういった援助が必要な人に、やはり近隣の人が、それも1人でなくて複数で、この人にはこの何人かでというように、そういったときの援助をきちんと決めないといけないと思います。正直なかなか町内会に任せていても進まないのも事実で、何か計画が出てきたものを検証していただくようなことを行政の方でチェックしてもらわないと思います。計画が出て来て、それで終わりっていうわけにはならないかと。そのことはお願いしたいです。

あと、具体的な避難訓練をされたらどうかと思います。先日、自閉症協会の人たちと話し合っ、自閉症協会の人たちも非常に、この災害時の避難そのものを気にしておりました。自分の子どもがそういった災害のときに、どこか自分の家と違うところに行かないといけないわけですね。そのときにどうなるんだろうかということで、私どもの施設を使って、いわゆる災害避難用のテントを張って、それで親とその子どもたちが、テントの中で少し時間を過ごしました。当事者の避難訓練がやはり必要なのかなと思います。鳥取市として福祉の避難計画をぜひ検証して欲しいと思います。というのは障がい者当事者も、一応一時避難所に行って、その中でトリアージといいますか、この人はここでは無理だなということになれば福祉避難所に避難するという計画になってますよね。その訓練をされたらどうでしょうか。例えば、場所は提供いたしますので、福祉人材研修センターで一時避難所の役を請負って、それで隣にたまたま厚生事業団の施設があるので、厚生事業団に福祉避難所を作ってもら。その代わり、隣だけ車で移動する。当然車は誰が手配するかとか、厚生事業団は誰が担当で、どこの部屋でどうするとか、そういうことを訓練と

はいえ、実際に起こったときにやらないといけない。ということで、色々考えてみたら、伝達はどういう具合にするかとか、誰が同乗して連れていくのかとか、そういうことが多分今全くできてないと思うんです。だからそれを一回どこかでやってみられたらどうかということで、少し総合教育会議から離れる部分もあるんですが、ただ、これを障がい児だと、子どもだと考えてもらえば、総合教育会議のテーマにもなるので、ご提案させていただきました。

(市長)

ありがとうございました。大きく2つ、ご提案も含めてご意見いただきました。まずマイタイムラインを学校で取り組んでみたらどうかというご提案をいただきましたが、教育委員会事務局としてはいかがでしょうか。

(学校教育課長)

ありがとうございます。先ほど鹿野学園の例も紹介させていただきましたが、子どもが作るだけではなく、それを家庭に持って帰って家族で共有するとか宿題で作ってこようとかいうこともしながら、子どもだけじゃなくて周りを巻き込んでというような取り組みをしていて、有効だという話も聞いております。社会科の学習にどういうふうに位置付けて、どうやっていくかということは、今後検討していきながら、取り組みが進めていけたらと思っています。先ほど言っていたように、教員にいきなりやれと言ってもなかなかできないので、研修の場であるとか、誰か専門家を派遣していただくような制度を活用するとか、その辺りも含めて検討したいと思います。

(市長)

それから、障がいのある方の個別避難計画に関連して、町内会の役員も変わられるということで、なかなか特定の方に任せるとするのが難しいのではないかと、具体的に避難訓練等取り組んでみてはどうかというご趣旨の提案いただいたように思います。厚生事業団にも協力いただけるのではないかとということで、どうでしょう。

(危機管理課長)

ご指摘いただきましたように、実際にやってみないといざ災害が起きたときには動けないというようなこともございまして、現在も自主防災会などを中心に、ご紹介いただいた美保南の例もそうですが、防災訓練は実施していただいているところでございます。その防災訓練に障がい者であったり、要配慮者の方の対応を実際どのように行うかというような視点も盛り込んでいただきながら実施いただけるように、防災リーダーの研修会などでもその要配慮者への対応等も取り入れながら、事例を紹介したり、働きかけなども私どもからもしていきたいと思っています。以上です。

(市長)

ありがとうございました。いかがでしょうか。

(藤井委員)

私どもは、障がいのある子どもを持つ親御さんたちと仕事柄つき合いがあります。ぜひ、本人を入れた訓練をして欲しいという声を聞きます。よくあるのが、この人が障がいのある役だとかでやって、本人はいないんですよ。だから、本人を入れて本当にうまくいくのかというような訓練をして欲しいと親御さんたちは言うておられる。それで子どもを入れるのなら当然親もついていく、そうすると親としての役割も分かるし、福祉人材研修センターから厚生事業団に、歩いて行けば済むようなものですが、実際に車に乗って本当にうまく子どもたちが厚生事業団に行って厚生事業団の人が本当に受け入れてくれるのか、それぞれ実際災害が起こったときに本当にどうなるかわからない部分があるので、それをやってみたらどうかということで、やれるのならば、ご本人さんたちを入れてやっていただきたいと思います。

(市長)

ご本人に参加していただいた訓練のご提案ということで承りたいと思います。その他、ご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

(前田委員)

たくさん勉強させていただいて、消化しきれていないのですが、特に地域福祉推進計画の中の話が大変興味深かったものですから、教えていただきたいと思います。スライド9番に目指す姿③次世代を担う人材の育成というのがありますが、本当にこれが大事だなと思っています。私は今、町内会の区長をしております、今年から動き始めたのが「支え愛マップ」を作ろうということです。皆さんに集まっていただいて動画を見ましたが、「たいへん必要なことだ。年寄りばかりだから是非進めてほしい。」という意見をもらいました。この人材の育成が地域の中でできればいいのですが、現状は難しいようです。本来こういったことを通して、人材を育成するのは学校なのか地域なのか、どういう組織がやるのかというあたりをはっきりしておいてもらった方がありがたいと思います。参加については学校・保護者を通じて働きかけると書いてありますが、地域でそういう計画があった場合には、中学生・高校生に是非とも参加させてほしいと思います。こういった次世代を担う人材育成が、防災教育を1つの手段として進めていただきたいと思います。命に関わることです、中高生が地域の活動に本当に必要感を持って、真剣に向かっているような取り組みになればありがたいと思います。

1つ危惧するのは、自治会の組織すらないとか、自主防災組織がないようなところが結構あるということです。あっても加入していない方がかなりおられるという中で、この話をしていくのはかなり困難さがあると思ってまして、何とか乗り越えていただきたいと

願っています。子どもたちに地域を意識させて、そして、地域の一員として、自分たちのあり方を考えさせる本当にいい機会だと思いますので、是非とも進めていただきたいというお願いです。

(市長)

地域での人材育成を、防災を一つのきっかけにというようなご趣旨のご提案だったと思います。

(地域福祉課参事)

すごく大事なご意見をいただいたと思っております。地域づくりと地域防災はセットだと考えておりまして、地域の防災の体制が整っていないとそういった要援護者への対応であるとか、なかなか進まないというところもございます。それこそ学生さん、子どもに対しても、防災教育と地域づくりがあって、そういうところも含めて、意識を高めていきたいというのが目標とするところかと思っておりますので、そういった方向に向けてこれからも考えて協議をしていきたいと思っております。

(2) 文化施設の在り方

文化交流課

【質疑】

(中井委員)

私は今商工会議所で、女性会と観光ビジョン策定特別委員会という観光まちづくりに関する委員会に所属しておりまして、色々と議論を進めております。また、仕事は駅前で小売業をしておりますので日々お客様と接することもございますし、駅前の商店の方ともたくさんお話をする機会がございます。リ・デザイン会議の方にも、若手経済人との意見交換会という会にメンバーとして出席をさせていただいております。皆様が様々な立場で様々なご意見をお持ちだということは本当によく承知しております。そのような中で、やはり5年後10年後の鳥取の町をどのように作って、残していくのかというようなことを考えましたときに、大きなビジョンを鳥取市として掲げていただいて、そこに向かって課だとか、色々な専門の会議等の垣根を取って、議論を進めていただきたいということを強く思っております。

具体的に言いますと、文化施設のあり方に関しましても、駅にホール的な機能を持たせるということになりますと、教育委員会だけで考えることではないと思ひますし、また、その文化施設の4つの中には福祉文化会館なども含まれますが、こちらもしっかり2核2軸の構想の中で、間に含まれる施設になるかと思ひます。そうになりましたときに城跡に近い位置にございますし、鳥取城のにぎわい交流ビジョンとの連携ということも考えて、議

論を進めていけたらいいのかなと思っております。城跡を今後鳥取市で大きく整備をされていかれると思いますが、周辺には小学校も存在しておりますので、そうなりますと教育委員会の学校再編のところとも関わってくることもあると思います。教育委員会と城跡、教育委員会と駅前、そういうような連携というものが、今後ますます必要になってくるということを、色んな会議に出ますと思っているところです。そのようなことに関しまして、お願いというか、一意見ということになりますけれども、ぜひ連携をとっていただいて、議論を進めて、今後の鳥取のまちの5年後10年後を大きなビジョンで、まちづくりの方を進めていただけたらなと思っております。

(市長)

ありがとうございました。これについてはどなたに答えていただきましょうか。全体に関わることですから、進行役がしゃべるのはあまり良くないですが、確かに今お話しいただきましたように、教育委員会の所管、それから都市整備部所管また、他の部局も関わってくるような取り組みになろうかと思えます。全庁的にといいますか、全庁一丸となって、或いは、市役所だけではなくて、経済団体の皆様、市民の皆様、オール鳥取市でこれ取り組んでいく、そのような大変大きな取り組みであろうかと思えますので、私たちもそのような思いで、この大事業をしっかりと進めさせていただきたいと思えますので、よろしくお願いしたいと思えます。まちなか未来創造課より補足をお願いします。

(まちなか未来創造課長)

ありがとうございます。中井委員さんには、リ・デザイン会議に関する経済団体との意見交換の場にも委員としてご出席をいただいてまして、本当に忌憚のないご意見を皆様からいただけてます。本当にありがたいことだと思っております。今現在のこの駅周辺の再整備の取り組みに関してはこれから50年先のこの街の中心拠点を作っていく大きなプロジェクトになりますので、先ほど市長も申し上げたようにオール鳥取市でこれは臨んでいかないと、これはおそらく実現できない、作ってもおそらく実効性のないものになってしまうそんな大きなプロジェクトになりますので、そこは市、そして民間の皆さん、関係機関を含めて市民の皆さんと一丸となって取り組むことが本当に必要だなという認識をしております。今以上にこれからそういった体制づくり等も含めて注力をしていきたいなというふうに考えております。ありがとうございます。

(市長)

ありがとうございました。

(中井委員)

あと、もう1点なんですけど、先日鳥取城フォーラム2024というのがありまして大変大好評だったそうでして、かなり早い段階でチケットが完売したということを私も聞いてお

りました。私もこれはすごくいいイベントだったと思います。鳥取の歴史について、市民が興味を持つということはすごく大事なことで、本当に鳥取愛を育むというような観点から見ましても、大人が学べる鳥取の歴史の勉強というようなことですごくいいフォーラムだったなというふうに感じております。今後、鳥取の城跡を鳥取市として、観光のためとか、市民のにぎわいのためにということで整備をしていかれると思いますが、その中で、やはり三階櫓までの復元というようなことを考えたときに、鳥取市の皆さんにも鳥取城跡のことを身近に思ったり、興味を持ったりしていただきたいなということをすごく思っています。

そういった中で、今ひとつ機運が高まらないことの要因の1つに、城跡について鳥取市民があまり知らない方が多いのではと感じることがありまして、吉川経家の像が立っていますが、何をされた方なのかを説明できる人は少ないかなと思いますし、あと、鳥取城を鳥取市に寄贈された池田侯爵がどういった経緯でどういった思いで寄贈されたのかというストーリーを、観光客が来られたときや県外の人に対して、自分が説明できるかということとなかなかそんな人は少ないのではないかなということを感じていて、そういうことを市民共通の認識として持つためには、学校教育もすごく大事だと思っています。自分自身もそうですが、あまり知らないなって、なかなか説明できないなって。そう思ったときになぜかを考えると、やはり習ってないからではないかと思ったことがありまして、やはり学校でみんなが1度は習っているということだと市民共通の認識ということで、頭に入るのはないかと思っています。そういうことを教育の場で勉強していくということは、鳥取愛を育む上でも役に立つのではないかと思います。これは提案ということでお願いいたします。

(市長)

ご提案ありがとうございます。いかがでしょうか。

(文化財課長)

鳥取城についてのご意見ありがとうございます。これまでも鳥取市歴史博物館や県立博物館で展示等で一応働きかけをしております。鳥取城フォーラム、毎回講師の良いときにはたくさん集まっています。情報発信には努めているのですが、確かにまだなかなか伝わりきらないところがあるかと思います。また努力はしていきたいですし、学校では子ども考古学教室等で機会を得て、そういうときには説明をさせていただいてところです。また近々ですが、再来年、大河ドラマが豊臣兄弟ということで、その機会にもし可能であれば秀吉の鳥取城攻めの話などそういったところももう少しアピールできるかと、これは庁内の観光部局などと相談を始めさせていただいています。以上です。

(学校教育課長)

鳥取のことについての歴史や鳥取に尽くした方のことを学ぶのは本当に郷土愛を深め

るために大事だと思っています。定例教育委員会でもお話したように、各学校では“鳥取市の志”という鳥取市に貢献した方を集めた冊子を使いながら、道徳の時間を中心に学びを深めているところです。どの学校でも学ぶようにという共通の何を取り上げるのか、どなたを取り上げるのかというのを一律にするのはなかなか難しいというふうに思っており、そこをどういうふうに考えていくかは、今すぐはなかなか言えないのですが、ご意見をもとにこちらも色々と考えていきたいと思っております。

(市長)

ありがとうございました。その他よろしいでしょうか。

(藤井委員)

報道を中心に読んでいる話とそれから教育委員会で説明を受けている話しか分からないので、もしかしたら勘違いがあるかもしれないのですが、最初に市民会館と文化ホールと福祉文化会館の老朽化に伴って文化施設のあり方というのが出てきて、そのあとに、駅周辺整備の話がでてきて、別々のベクトルで動いてるような気がしています。本当は一緒にならないといけないところが。もしかしたらちゃんと連携とってやっているのかもしれないのですが。それで実際に新しい文化施設ができて使うといっても、まだまだ先なのかもしれないというのが本当の思いで、スケジュール的に考えても5年はかかるかなと思っています。それでこの間、市民会館の改修の話が出て、急に何か話が出てきたみたいで報道で書いてあったのですが、実際のところ市民会館の改修を急いでやらないと、5年以上先のことを思いながら放っておくわけにいかないのです。改修されたほうがいいとは思いますが、何かその辺のことが変な誤解を生んでるかなと、私は市民会館の改修を急いでやられたらいいなと思っています。

それから、駅周辺整備の具体化って非常に期待してしまして、最近水戸とか甲府に行ったことがあります。若干鳥取市より人口が多いのですが、地方都市で新幹線も通ってないところで、水戸や甲府は鳥取駅みたいな高架になっていなくて、下を線路が通っていて、2階部分で行き来ができて、いわゆるテナントビルとかそういう文化施設も入っているような建物があるんですよね。というようなところで、多分鳥取駅の場合は2階に改札でも作って、2階を通りながら、そういうことで全体を工夫しながら作られると思います。そういった整備は必要だと思いますが、少し老朽化したものの統合のあり方とちゃんとリンクして話し合っているという格好が必要なのかなと思っております。先ほど中井委員が言われたように鳥取城跡の話もありますし、非常に広い防災公園が建築されようとしています。あそこに防災公園が要るか要らないかという議論もありますが、ここも今の市民会館も含めて、そこから城跡の辺りが1つの拠点になると思いますし、駅周辺もなると思うので、多分文化施設も2ヶ所ぐらいに分けたような格好になるのではないかと勝手に思っています。

場所ありきではないんですが、ある程度場所を決めないと話って進まないのです。そうい

う全体の絵も書いて欲しいと思っております。これは市民としてになるかもしれませんが、それがないと進まないと思います。鳥取城跡が順次整備されますが、例えば播州赤穂や信州上田、犬山など城に繋がるところが結構整備されてますので、そういった格好もあるのかなと思います。何か話が別々に動いてるような気がしているので、そのところをきちんと統一して欲しいです。

(市長)

ありがとうございます。前振りで答えさせていただきます。おっしゃるとおり、別々のベクトルで動いているように見えるということで、実は先般も市議会の常任委員会で、市民会館の暫定的な使用といいますか、新しい施設ができるまでの間、これは空調を最低限改修する必要があるのではないかなというような説明をさせていただいたら、新しい施設ができるのに二重投資になるのではないかなというご意見もありました。けれども、このベクトルは同じ方向にそろえて進めていくということが基本であると考えておりまして、先ほどお話いただきましたように新しい施設も5年10年かかるということになります。そうなりますと、やはり千人規模のいわゆる中規模のホールが、この県の東部にはありませんので、そういった機能を果たし続けるとなると少なくとも夏場は冷房がきかないと使用ができない。だから最低限、最小限の経費でそのあたりは、改修の必要があのではないかなということではありますが、そういった新しい文化施設のあり方と既存の施設をいかに効率的に活用していくのかということは、別々の問題ではありますが、やはり公共施設全体の課題でもありますので、そのあたりをしっかりと関連付けて、同じ方向を向いて、整備なり改修をしていくようにしていくことに意を用いていく必要があろうかと思っております。まさに今ご指摘いただきました点は、これからの課題であると考えているところであります。

(文化交流課長補佐)

ご意見いただき、ありがとうございます。市民会館を預かる文化交流課としまして、昨年一昨年と冷房が壊れて、本当に市民の皆様にご迷惑をおかけしたというような現状がございます。先ほど市長が申し上げたように新しい施設は5年先10年先というふうになってくるかと思います。また文化ホールも非常に稼働率の高い施設でもありますし、ホールがなくなってしまうと、市民の文化活動の場を奪ってしまうのではないかなというようなご意見も第2回の有識者会議で委員の方からちょうだいしたところでございます。今後、有識者会議の中で議論を深めていくにあたりまして、既存施設の役割ですとか、新しい文化施設の機能、役割とか、そういったものの議論を深め、しっかりと検討しながら基本構想の案を作っていくたいというふうに思っております。

(市長)

その他よろしいでしょうか。

(谷口委員)

普段、親子劇場というところで、親子で舞台を鑑賞する会の事務局をしています。あと、まだ子育て中ということで保護者目線からの意見を言わせていただきたいと思います。

まず、ホールに関して、私たちはプロを県外から呼びまして、親子で一緒に舞台を見ているのですが、だいたい芸術の秋やそういう舞台を見るのが盛んな時期というのがどの団体も同じような時期になって、ホールが取れない時期が1年に何回かあります。その時は本当に取り合いのように、9時半になったらすぐ電話するとかそういうふうに会場を押さえるのに必死になっておりますので、数が減るのは困るところがあります。大きさも、市民の人口に対して箱物が余りにも数が多すぎると、やはり普段それに親しみを持たれてない方にとってはそんなに必要なのかという話にもなるかなとは思いますが、規模によって、会場も含めて一体となってその作品が完成すると思いますので、バリエーションが色々あるようなホールができればという希望も持っております。

あと、これはいい面と悪い面があるのですが、鳥取市や鳥取県は色々な助成金をいただいて、行政がすごく文化に一生懸命で、他所の県や市に比べたら、そういう助成金が入ってる事業がありまして、割と安価で親子に対してのイベントがなされているのですが、私たちのように会員制でやっている会の1回の鑑賞券代がものすごく高いから見に行けないというご意見もあります。本当は安いから駄目というわけではありません。県外からプロを呼んで実施するときには、多分行政からお金がたくさん出てると思います。ですが、一般の方には500円で見れて当たり前という感覚が根づいているというか、無料から500円が相当みたいなふうに言われます。それではプロが生活していくには、本当に厳しい価格設定で、助成金が入っているからということあまり知られていません。1000円を超えてくると、ものすごい高いと言われることがあって、私たちもすいませんという思いで、うちは助成金をいただかないで会費でやっておりますので、という説明をしています。本当は安くしてたくさんの方に見てもらえたらいいのですが、そうではないというところも文化芸術が根づいていないのかなと思います。本当にそれでプロでやっていくというのは大変厳しいことをもう少し市民の皆さんにも理解していただけるような、もっと自主事業で色々な団体が鳥取でイベントや舞台を行えることになればと思います。アーティストのコンサートは1万円超えるのも当然と受け取られるんですが、なぜかその人形劇を呼んだり演劇を呼んだりするのは1000円超えると高いと言われるのが私たちも心苦しいなと思いつつ、でも私たちの活動をやめしまうと、子どもたちが自由に定期的に親子で舞台を見る機会が鳥取はものすごく少ないので、そこは頑張っていこうとみんなで話してやっています。その辺りもう少し折り合いがつくようにホールの運営も含めてできればいいなという希望です。

あと、保護者としてです。親子劇場の会は母親の会員が多いんですが、色々話をしているときに出る意見としては、雨の日に体を動かせるような施設がない、こどもの国はありますが車で行かないといけないから遠いというものです。わらべ館もありますが、どちら

かという小さいお子さんの集う場所っていうイメージがあります。広さもそうですし、そこで小学生が走り回っていると、子どもが幼児のうちには少し危ないなど。走るのやめて欲しいと思っていたのですが、子ども供が小学生になると走り回る場所がないのでわらべ館に行ってください、わらべ館で遊んでくださいっていうふうによく言っていました。少し危険だと思うことがあるので、何とかこのリ・デザインでも、少し大きなお子さんが室内で体を思い切り動かして遊べるような施設が 1 つぐらいはあってもいいのではというふうに思っています。中高生になると、勉強する静かな施設も欲しいというような意見もたくさんあります。図書館は今、子どもが長時間勉強するのが禁止になっているところもあり、公共の場所だから長時間机を独占するのはよくないということで、子どもたちが勉強するスペースを探しています。例えばカフェは長時間の利用が OK なので、ドリンク一杯で高校生がそこで勉強している風景も見られます。そうではなくて、もっとゆったりと子どもたちが勉強できるようなスペースがほしいなど。意見というよりは希望ばかりですいません。色々言いましたが、そういうところもお願ひしたいと思います。

また、駅前のリ・デザインの中に駐車場を作らないというご意見もあると聞きました。やはり将来的に車人口が減って車を持つご家庭が少なくなるかもしれないんですが、今のところはどこに行くのも車社会ですので、鳥取は特に駐車場は整備していただきたいという希望を持っております。例えば、駅の地下に駐車場を整備していただけるのであれば、駐車場が必要なくなった場合はそこが核シェルターになるとか、そういうのもどこかに入れていただけたらなという希望を持っております。色々希望ばかりですいません。

(市長)

ご提案ということで承らせていただいてよろしいでしょうか。最初の方はなかなか難しい問題だと思います。色んな人形劇やコンサート、どう折り合いをつけて料金等を考えていくか、それから、リ・デザイン会議の中で、例えば雨の場合に子どもたちが過ごすような場所がないではないか、駐車場の必要性といったところで、今わかる範囲で、その 2 点についてお願いします。

(まちなか未来創造課長)

まさに谷口委員さんがおっしゃられる通り、色々な世代の皆さんからご意見をいただいているところであります。特に子育て世代の皆さんとのワークショップも開催を重ねておりまして、そういった子育て世代のお母さんお父さん方からはやはりこの悪天候時に遊べる場所が鳥取にはないというところで、そういった機能も駅という立地の中で整備をいただければすごくにぎわい創出に繋がるのではないかとご意見もいただけてますし、あと駐車場に関しては作る作らないという意見も多々あります。現在は駅周辺に時間貸しの駐車場が約 1500 台あります。市の駐車場も 200 台確保してますが、本庁舎の駐車場も土日祝日になると、全く使われてない状況であります。民間の時間貸し駐車場も稼働率を現在調査させていただきながら、使えるものは既存のものを使っていくということも 1 つ

のポイントとして駐車場整備のあり方については検討していこうと思います。これから複合施設の検討を進めまして、そこにどのような民間施設が入るかによっても、この既存の駐車場のままでは足りないであるとか、そういったところも踏まえてこれから内容についてさらに議論を深めていくという段階にあるということです。いずれにしてもこれからまた市民の皆さんから随時意見をいただき、ワークショップも重ねながら、完成した後にたくさんの皆さんに利用いただける施設にしていきたいというふうに考えておりますので、また引き続きご意見等いただければありがたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(市長)

その他よろしいでしょうか。

(前田委員)

ベクトルがどうか、総合的という話がありましたが、その中の1つの視点に、やはり新市というか、旧の町村の方から見てもこれ必要なことだ、大事なことだと思われるような何か説得力のある表現を入れていただきたいと思います。

そうした視点も持って進めていただけたら喜ばれると思いますし、小中学生も、地元に残ろうかなという思いも持ってくれると思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

(市長)

ありがとうございます。承らせていただきます。

- (3) 次期鳥取市の教育等の振興に関する大綱、鳥取市教育振興基本計画の策定について
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

ご意見というかお願いですが、今の計画の期間中ずっと教育委員していまして、5年間で随分進んだと思っております。国の施策もありまして冷房が非常に早いペースで整備されたし、1人1台のタブレット端末がこんなに早く達成されると思っておりますでしたし、鳥取市の関係でいうと鳥取城跡とか、美敷水源地の整備とか、或いは市民体育館とか、給食センターも着手するということで、非常にいいペースで進んでると思っております。今度の5年間で特に思ってることがあります。もちろん全部の課題が教育委員会よく話し合わないといけないのですが、1つ、校区審議会を取りまとめたいただいた学校の再編について、今度の5年間でもう少し動かないといけないかなと思います。今気高地域は動いていますが、旧市内についても何かもう少し動かないと。まず地域で議論してくだ

さいというのは正しいと思いますが、どこかでスタートしないといけないのではないかと
いうのが非常に気になっております。

それからもう1つ不登校対策について予防もありますし、不登校になった子どもたちを
どうするかというところもあると思いますので、そのところもどうするのかというのが
気になっております。昨日か一昨日か、最近不登校の専門の学校もあるということをNH
Kで放映していました。鳥取市にそこまでのものが要るかかどうかというのはあると思い
ますが、実際そういう時代になったのかなと思っております。それで最後をお願いします。自分
自身の反省も含めてですが、教育委員会の予算って結構継ぎ接ぎするんですよね。足りな
くなったら非常勤を雇うとかいうようなことで、教育委員会に限らず、継ぎ接ぎするん
ですよ。だけど実際は、あのとき常勤でちゃんとしとけばよかったなと反省することが
多々ありまして、例えばスクールカウンセラーは、学校で時間単価でやっていますが、ス
クールカウンセラーみんなそれでいいのかと思います。例えば、誰か常勤で教育委員会
の中に雇っておかれて、取りまとめみたいな人がいて、その人も現場に出られたらいいと思
いますので、常勤のスクールカウンセラーが必要なのかと思ったりします。総務部長さ
んもおられますし、予算のこともあると思いますが、私も非常に反省してるのは教員の採
用試験も20年前は非常に倍率が高くて、たくさん講師を採用して非常勤講師もいたの
ですが、あの人たちをみんな採用しておけば、今こんなことになってないのではないかと思
うこともあります。やはり世の中どう動くか分からないので、そのときに必要なものは少
し背伸びをしてでも、非常勤で積み重ねるのではない方が後々いいのかなと思ったりして
おります。特に今一番気になるのは、スクールカウンセラーがみんな非常勤だということ
です。あと何かまた5年間のうちに、教育委員会発でお願いすることがあるかもわかりま
せんが、快く受けとめていただきたいなと思っております。以上です。

(市長)

ありがとうございました。ご提案ということで承らせていただきたいと思います。

(教育長)

今日はそれぞれ4人の教育委員の皆さんが色々ご意見なり要望をしていただいたと思
っております。市長を初め市長部局にも、よろしくご検討をお願いしたいと思ってお
りますし、教育委員会事務局にも色々ご提案、ご意見ありましたので、真摯に対応して参
りたいと思っております。

私からですが、この最後の3つ目の次期の鳥取市の教育等の振興に関する大綱なり教育
振興基本計画のことについてでございますが、中井委員からお話がありました鳥取愛と
いうことで、現在の基本的な考え方も、“ふるさと思い 志を持つ人づくりを進め 夢と希
望に満ちた次代をひらく”というようなところが、今、第二期のことですが、中井委員
からお話あったようなところもまた心に置きながら、第三期の計画に向けて策定に向け
て取り組んで参りたいと思っておりますので、どうぞご指導よろしくお願いしたいと思
ってお

ります。以上です。

(市長)

ありがとうございました。それでは、以上でご了承いただいたということで、4のその他で事務局から何かありますか。よろしいですか。そういたしますと少し時間が押してしまいまして申し訳なかったですが、以上をもちまして本日の議題はすべて終了いたしましたので、以下の進行については事務局をお願いしたいと思います。

4 閉会

(副教育長)

協議ありがとうございました。本日の会議につきましては、速やかに議事録を作成いたしまして、鳥取市の公式ホームページに掲載いたしますので、よろしくお願いいたします。以上をもちまして総合教育会議を閉会させていただきます。皆様どうもありがとうございました。

15 : 10 閉会